

(資料 4 3) 誌上・口頭発表件数等

区分 年度	誌上発表件数			口頭発表件数		
	和 文	欧 文	計	国 内	国 外	計
13年度	227 (80)	310 (254)	537 (334)	756	185	941
14年度	289 (105)	271 (228)	560 (333)	773	184	957
15年度	345 (106)	287 (242)	632 (348)	955	198	1,153

(注) 誌上発表件数の()内の件数は、査読ありの件数

1. 中期計画における目標との比較

中期計画における目標；中期計画期間中に、誌上発表件数、口頭発表件数についてそれぞれ H8～12 の合計件数の 1 割増を目指す。(具体的には誌上発表；2,640 件、口頭発表；4,206 件)

平成 15 年度(3 年目；60%経過)までの進捗率

誌上発表件数 H13～15 の累計 1,729 件 進捗率 65.5%

口頭発表件数 H13～15 の累計 3,051 件 進捗率 72.5%

2. 査読付き文献等における論文数等

査読付き文献上での論文数

査読付き文献に掲載されている論文数も 13、14 年度の 334、333 件に対して、15 年度は 348 件と増加傾向にある。

掲載される文献の引用回数の比較

文献毎に毎年定められている当該文献の 1 論文あたりの引用回数(インパクトファクター；I F)について、当研究所の論文が掲載された文献の I F について調査した。(H14,15 年度、欧文文献を対象)

平成 14 年度	IF 付文献に掲載された論文数	1 6 9
	それらの IF の総合計	3 3 5
	総合計/論文数	1 . 9 8
平成 15 年度	IF 付文献に掲載された論文数	1 6 7
	それらの IF の総合計	3 8 3
	総合計/論文数	2 . 2 9

その結果、IF 付きの文献への掲載件数は横ばいであるが、1 論文当たりの掲載雑誌の平均 IF は増加傾向にあり、より引用される機会が増加していることが考えられる。

3. 誌上発表件数及び口頭発表件数の 5 年間の移動平均

発表件数の 5 年間の移動平均をとると、以下のとおりであり、年々増加していることがわかる。

区 分 年 度	誌上発表年度平均件数			口頭発表年度平均件数		
	和 文	欧 文	計	国 内	国 外	計
平成 8 年度～平成12年度	260	220	480	553	212	765
平成 9 年度～平成13年度	248	242	490	601	216	817
平成10年度～平成14年度	256	258	514	657	215	873
平成11年度～平成15年度	266	266	532	728	217	945

注：それぞれ、小数点未満は四捨五入してあるので、計が合わない場合がある。

（参考）

区分 年度	誌上発表件数			口頭発表件数		
	和 文	欧 文	計	国 内	国 外	計
平成 8 年度	287	199	486	519	163	682
平成 9 年度	248	191	439	489	187	676
平成 10 年度	295	243	538	597	189	786
平成 11 年度	218	220	438	542	227	769
平成 12 年度	253	246	499	619	292	911
8-12 合計			2400			3824
8-12 年平均			480			765
13-17 目標			2640			4206